

平成 30 年 7 月 6 日
吹田市健康医療部

吹田市の中核市移行に向けた取組状況について

1 過去の経過

- (1) 平成 18 年 (2006 年) 地方自治法改正 (面積要件の緩和)
中核市移行の要件を満たしたことから検討を開始。当時は普通交付税の不交付団体であり、財政負担が大きいとして当面は見送ることとし、大阪府との事務的な勉強会を通じて調査・研究を行うこととした。
- (2) 平成 23 年 (2011 年) 市長交代
政策課題の一つに中核市移行の推進を掲げる。一方で職員体制や財政への影響などの課題があり、長期的な視点で方向性を議論する必要があるとして見送り。引き続き大阪府との勉強会は続けていくこととした。
- (3) 平成 27 年 (2015 年) 現市長就任
政策課題の一つに中核市移行による自治権限の強化を掲げ、平成 28 年度から行政経営部を中心に本格的な検討を開始。市議会においても中核市移行に関する調査特別委員会を設置。
- (4) 平成 29 年 (2017 年) 2 月定例会
施政方針で平成 32 年 (2020 年) 4 月の中核市移行を目指すことを表明。

2 平成 29 年度 (2017 年度) の主な取組

- (1) 中核市移行準備担当の配置 (4/1)、吹田市中核市移行推進本部の設置 (5/8)
- (2) 大阪府への協力要請 (5/16)
- (3) 吹田市保健所業務移管検討ワーキング会議 (6 月以降、6 回開催)
- (4) 吹田保健所の協力による勉強会 (8 月以降、9 回開催)
- (5) 府内先行市の視察 (豊中市、高槻市、枚方市、八尾市、寝屋川市)
- (6) 移譲事務説明会の開催 (1 月)

3 平成 30 年度の (2018 年度) の主な取組

- (1) 中核市移行準備室及び保健所設置準備室の設置 (4/1)
保健師 4 人を吹田保健所に研修生として派遣 (4/1~)
- (2) 吹田市中核市移行基本計画 (案) の決定 (5/2)
- (3) 市民周知に関する取組
 - ア 吹田市中核市移行基本計画 (案) のパブリックコメント (5/15~7/3)
 - イ 啓発リーフレットの全戸配布 (市報 6 月号に折込み)

- ウ 市民意見交換会の開催（6/11、6/24）
- （4） 獣医師、薬剤師等の人材確保に向けた取組
大学や関係機関等への訪問など、PR活動を実施
採用試験の実施（9月予定）、大阪府に研修生として派遣（平成31年度予定）

4 今後の予定

- （1） 総務省及び厚生労働省のヒアリング【平成31年（2019年）1月】
- （2） 中核市指定申出に関する議案及び関連予算の提出【平成31年2月定例会】
- （3） 大阪府知事へ中核市指定申出に対する同意の申入れ【平成31年4月】
- （4） 総務大臣へ中核市指定の申出【平成31年8月】
- （5） 中核市指定に係る政令公布【平成31年10月】
- （6） 中核市へ移行【平成32年4月1日】